



川崎歴史ガイド

# 橘樹郡家と影向寺



財団法人 川崎市文化財団

# 橘樹郡家と影向寺

たちはなぐうけ  
多摩川右岸中・下流の平野部と  
多摩丘陵を舞台に展開した川崎市  
域の歴史を展望するとき、影向寺  
のある宮前区の野川台とその周辺

は、まるで原始・古代から中世の  
歴史を集約するよう豊かな文化  
の遺産を残しております。

なかでも影向寺は中国大陸から  
仏教が伝来して間もない7世紀後

半の創建、すなはち法隆寺と同じ  
頃に起源をもつ古刹と考えられま  
す。この時期は古代国家の確立期

にあたり、当地方は武藏国橘樹郡  
に位置付けられます。郡の行政は  
郡役所である郡衙によ

影向寺本尊薬師如来坐像右顔部分（平安時代）

つて行われましたが、  
郡司には当該地方の有  
力豪族が任命され、彼  
の私宅が行政府となっ  
ていくケースが多くつ  
たため、一般に郡家と  
いわれました。

平成14年、この（推定）  
橘樹郡家の遺構の一部  
が、影向寺の近くから  
発見され話題となりま  
した。

影向寺は平安時代後  
期に造立された重文薬  
師三尊像を現本尊と  
し、今まで法燈を伝  
え多くの文化財や伝  
承、そして年末の歳時  
記として有名な「影向  
寺の市」を伝えていま  
す。そこで郡家と影向  
寺の変遷を中心に歴史  
の舞台にスポットをあ  
て、散策の拠点として活  
用していただけるよう  
編集しました。



# 子母口貝塚と富士見台古墳

れ、墳頂部もかなり損壊が目立ちます。現状での高さは3・7メートル、墳径17・5メートルです。

かつて当地域が橘樹郡といわれ、付近に郡守護社とみられる橘樹神社が所在することから、東国に広く分布するヤマトタケル伝承と結びついて語られてきたものと思われ

川崎市域、そして、たちなば地区の歴史の開幕は、やはり子母口貝塚からというべきでしよう。

もちろん同貝塚の営まれたおよ

そ7千年前、すなわち縄文時代早期を遡る旧石器時代の遺物も市域で

発見されていますが、遺跡として十分調査されたところはありません。

その意味で、縄文時代のあけぼのを告げ、神奈川県指定史跡として保存されているこの貝塚に立つと、歴史の原点をみるという感じです。貝塚は台地の縁辺に散在し、貝

層の厚さは15～40センチ、出土する

土器は子母口式と命名された殆ど文様のない素朴な姿で、底の尖った形をしています。貝塚からは淡水と海水両方の魚介類、それに鹿の骨なども検出され、食生活をうかがわせます。この土器を使った縄文人の環境は、こうした出土遺物から台地の下が内湾的水域となり、近くまで海が迫っていたと考えられます。そして彼等の住居は、台地が傾斜する肩部から平坦部にかけて存在したと推定されますが、現在人家が密集し調査は行われていません。

※旧石器時代の遺物としては、多摩区の下原遺跡から2万6千年ほど前の石斧が、高津区新作小高台遺跡から1万9千年位前のナイフ形石器の出土例が報告されています。

さて、長期にわたる縄文・弥生時代の様子については『川崎市史・通史編』等を参照していただくとして、子母口貝塚の次は富士見台古墳を訪ねてみましょう。

ヤマトタケルがオトタチバナヒメ



縄文人が捨て、貝塚に散乱していた貝殻



子母口貝塚は公園として残っている

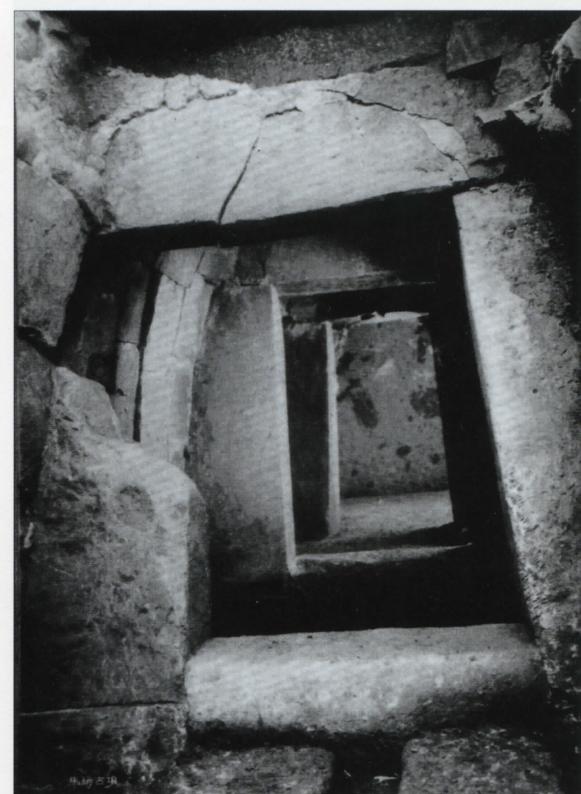
さて、長期にわたる縄文・弥生時代の様子については『川崎市史・通史編』等を参照していただくとして、子母口貝塚の次は富士見台古墳を訪ねてみましょう。

6世紀頃に築造の円墳ですが、北側は道路によつて削平さ



民家に囲まれた公園に富士見台古墳はある

## 馬絹古墳



馬絹古墳。前室から奥室を見る

市域にある数多い古墳のなかで、双璧ともいべき存在は、すでに湮滅した白山古墳（本シリーズ「夢見ヶ崎と鹿島田」参照）とこの馬絹古墳といつてよいでしょう。

前者は4世紀後半の築造で古墳時代前期を代表し、後者は古墳時代終末期の7世紀末から8世紀初頭のものと考えられています。現在は史跡公園として整備されていますが、保存のため内部の見学はできません。

この時期はすぐ近くの影向寺の創建と重なり、律令国家形成期、この古墳に埋葬された古代豪族は、新しい仏教文化導入とも無縁ではなかったと思われます。



地表面を少し掘り下げると推定正倉群などの痕跡が出てくる

## 橘樹郡家の発掘

古代国家が確立した7世紀頃、地方も次第にその体制下に入り、国・郡（古くは評）・郷の行政制度によつて統治されました。

役人の住居施設である「館」、炊事施設の「厨」、そして倉庫群「正倉」から構成され、それらを空堀や塀で囲んでいたようです。

各国の役所である「国庁」は、中央政府の藤原宮や平城宮の小型版「郡家」は国庁をさらに小規模にしました建築群によつて構成されました。

過去の発掘事例からみると、「郡家」は郡の政務や儀式を行う「郡庁」、

は郡の機能を停

止すると、建物はやがて朽ちて地

昭和61年橘樹神社北方の台地上

から奈良時代の大型掘立柱建造物の遺構が発見され、正倉の可能性が指摘され、その後、影向寺台の東、伊勢山台の発掘でも倉庫の立ち並ぶ正倉域が確認されました。さらに平成14年夏には舞台を影向寺台に移して調査を行つた結果、郡庁に関連するとみられる大型の掘立柱建造物跡が発見され、川崎市教育委員会もこの辺り一帯が橘樹郡家の所在地であると、推定するに至りました。

なお発掘現場は私有地で埋め戻されており、見学はできません。

# 影向寺の創建

関東地方屈指の古刹、影向寺はいつ創建されたのか、文献資料が乏しく、明確ではありません。

しかし、同寺についても昭和52年以来、たびたび行われた寺域の発掘調査によって、考古学的情報が豊富に集積されました。

その成果をまとめると

- ① 7世紀後半頃に創建されたこと。
- ② 8世紀中頃金堂の規模が拡大され、三重塔が建立されるなど伽藍が整備されたこと。
- ③ 15世紀後半に旧金堂を廃し、小

規格な密教本堂タイプで再建されたこと。

④ 元禄7年（1694）、前身堂の様式を踏襲し、旧材の一部も転用して、現薬師堂が建立されたことなどです。

創建時に仏堂の屋根を飾ったとみられる単弁蓮華文軒丸瓦は、仏教文化の中心飛鳥地方で造営された吉備池廃寺などに起源をもつ白鳳

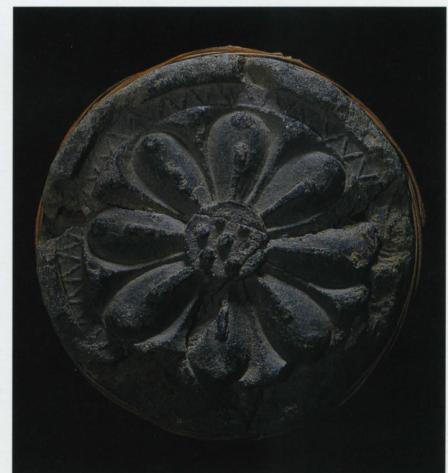
時代（645～710）の様式で、「無射志国荏原評」の銘をもつ文字瓦も発見され話題となりました。

規格な密教本堂タイプで再建され

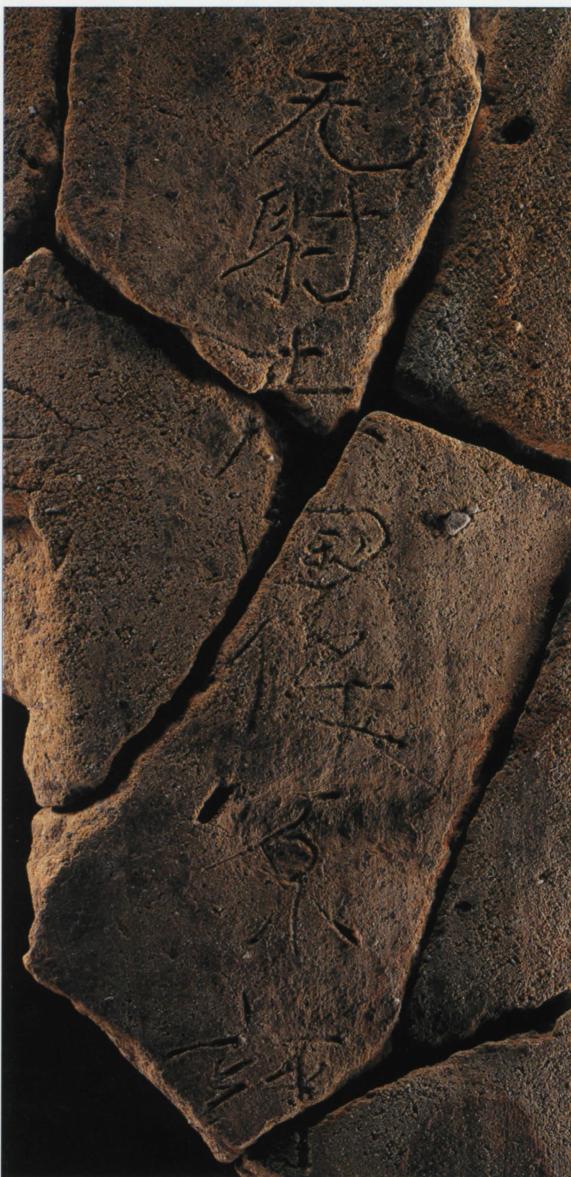
（645）後、地方制度を整え、大宝律令が制定される701年までの間は、地方に国・評制を敷き、その後は国・郡制へ改編しました。

評制は各地の古代豪族の勢力圏を「評」を単位として中央政府の組織下に組込むことを最大のねらいとし、郡制は天武朝以

来、国家の制度や組織が整い、古代豪族の力を抑制し中央集権によって地方支配の徹底をはかった新しい地域単位であるといわれています。



軒先を飾った軒丸瓦は白鳳時代の様式を示している



「無射志国荏原評」銘の平瓦。大和政権成立期、武藏は「無射志」、「無邪志」と表記され、国造（くにのみやつこ）の勢力下にあり、「无射志」、「無邪志」の表記はその後も用いられた

このことにより、影向寺の創建には、この地方に古くから勢力をもつ在地豪族の存在が推定され、寺院の建設に各地から資材の寄進のあつたことがうかがわれます。7世紀後半頃、この地方で馬絹古墳、橘樹郡家、影向寺と3つの大きな土木建築事業が行われました。それは古墳時代の最後を飾り、古代国家による地方支配の進展、そして新しい仏教文化の到来を告げるものであり、三者の背景には在地を支配した有力豪族の存在がみえかくれす

# 創建時代の金堂と本尊

上述の考古学的成果や白鳳時代寺院史の研究などから、伽藍はまづ、もつとも重要な仏堂である金堂から建設されたと推定されます。

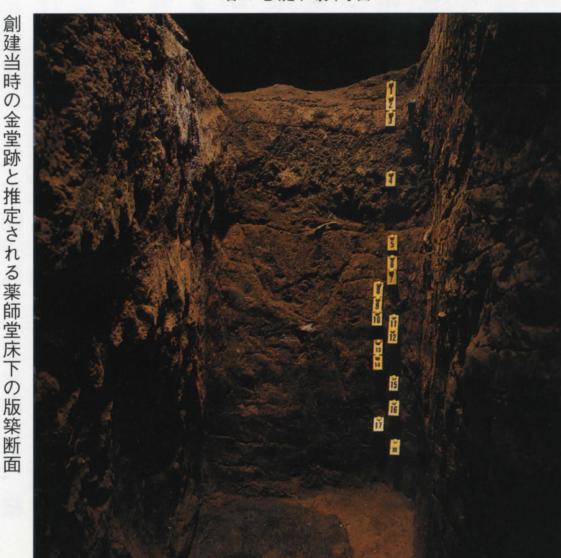
しかし①旧地表面に土坑を掘り、その中に礎石を配した略式の基壇であつたことや、②創建時の屋根を飾つた第一類の軒丸瓦の出土例が少ないとなどから、簡素で私的な性格の仏堂であつたとみられます。

奈良時代になり、橘樹郡の守護寺へと変貌するなか、伽藍が整い、金堂も大型化したものと考えられます。また、現本尊の薬師如来坐像は平安時代の製作であり、創建時には別の本尊があつたと推定されます。白鳳時代の本尊級仏像の遺例は少なく、中央では奈良寺金堂本尊の弥勒菩薩坐像(塑像)や旧山田寺の仏頭(興福寺・金銅仏)が挙げられます。が、関東では調布・深大寺の金銅釈迦如来像や千葉・龍角寺の

寺へと変貌するなか、伽藍が整い、金堂も大型化したものと考えられます。また、現本尊の薬師如来坐像は平安時代の製作であり、創建時には別の本尊があつたと推定されます。白鳳時代の本尊級仏像の遺例は少なく、中央では奈良寺金堂本尊の弥勒菩薩坐像(塑像)や旧山田寺の仏頭(興福寺・金銅仏)が挙げられます。が、関東では調布・深大寺の金銅釈迦如来像や千葉・龍角寺の



塔の心礎、影向石



創建当時の金堂跡と推定される薬師堂床下の版築断面

## 防人の歌

家ろには葦火焚けども住  
み好けを 筑紫に到りて恋  
しけもはも  
草枕旅の丸寝の紐絶えば吾  
が手と付けろ これの針持し

天平勝宝7年(755)2

月、武藏国橘樹郡から防人として徵發された夫が、その旅立ちにさいして別離の歌を詠み、妻が返歌でこたえていました。(『万葉集』巻20)。

当時、下着の紐を結びあい、その一端を持参することで無事を祈る素朴な信仰があり、その紐の切れることのないよう祈つたものです。

律令制下、地域の人々の生活はどう条大路から出土した貢進物につけた荷札木簡に「橘樹郷茜十一斤」の墨書きが発見され、これによって当地の方の人々が染色材料となる蔓草の「茜」を納めていたこともわかりました。

こうした諸負担に加え、役所や道路・用水路工事などの建設土木事業、そして防人として3年間の筑穴式の住居に住み、条里制によって給付された水田や畠を耕作する自然

のは困難ですが、この歌から推定されるように「盧舍」と呼ばれる粗末な堅穴式の住居に住み、条里制によって

きびしいものであつたと思われます。



聖德太子李養像（寄木造・玉眼・室町時代）。川崎市重要歴史記念物



影向寺三尊像は国重要文化財

精神性が高く男性的な趣の表情、堂々として厚みのある体幹部、影向寺現本尊薬師如来坐像は、像高139センチ、平安時代後期（11世紀後半～12世紀）の名作です。

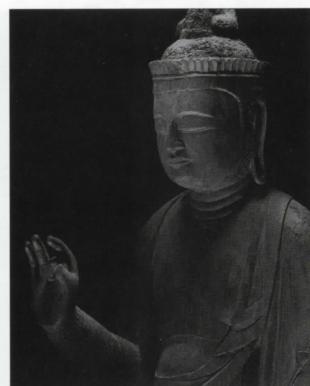
拝する者の襟を正させ、執着のない心の平穏な世界に誘われる感じがいたします。

現本尊は①素材がケヤキであること、②当像のように大きな仏像は12世紀頃には寄木造が一般的となっていましたが、当像は伝統的な

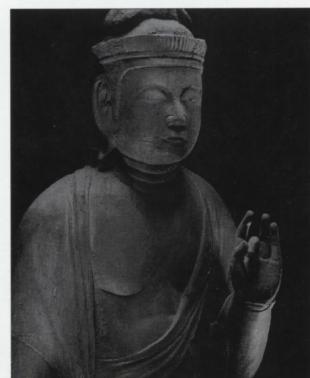
一木彫り、彫眼であること、③面部表現などにやや古様でローラルな感じがあり、当時主流となっていた定朝様式とはその趣が若干異なること、以上のことから本像は当地で製作され、仏師は前身仏を追慕

しながら彫ったため、このように重厚な仏像となつたものと考えられます。以来、凡そ9百年、本尊は静かに端坐して、訪れる人々を慰め、地域の歴史の変遷をみづけてきました。

## 薬師如来坐像



上：脇侍日光菩薩立像  
下：脇侍月光菩薩立像



## 中世の影向寺

鎌倉・室町幕府などの時の政権と特別な縁故のない影向寺は、有力な外護者をもたず、伽藍は次第に衰微していきました。

中央・地方を問わず、古代に成立した多くの寺院は、中世になると兵乱や雷火によつて焼失したり、檀越を失つて退転し、やがて廃寺となる運命をたどります。

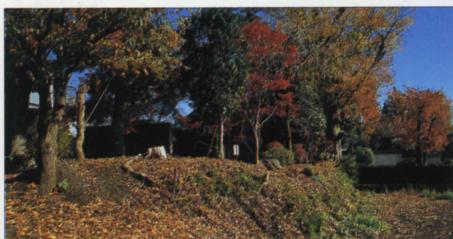
14世紀頃 当寺の金堂は大破状態となり、薬師像の保存も危ぶまれました。そこで影向寺では僧侶

が民間に出向いて勧進を行ない、漸く小規模な密教本堂

を再建します。

15世紀初め頃のこと、同じ頃、本堂の周囲に土塁を設け聖域とし結界としたよう

高さ約1メートルの土塁。左奥に薬師堂がある



# 妙法寺の板碑

平安時代後期になると律令体制は弛緩し、郡家の機能も消滅。古代に定められた郡郷制も、その実体を失つて、代わって地域に根ざした新しい郷名がみられるようになります。

地方では複数の郷が在地領主等によつて統一され、莊園が誕生するのもこの頃のことです。このことは古代的な豪族が影をひそめ、武士団が台頭してきたことを示しています。



妙法寺境内

こんな活躍をしたのか、文書記録が乏しく、具体的なイメージははつきりしません。

武士団の表舞台となつた鎌倉には、武家の居館の周辺に次々と禅宗や日蓮宗の寺院が建立され、大きな五輪塔や宝篋印塔などの石造物文化が残されました。しかし川崎市域ではわずかに板碑がみられるのみです。

板碑は武士が主君や関係者の供養のために造立した石製塔婆で、中央に梵字や来迎する弥陀像が表

れ、影向寺にも、蓮乗院にも、権六谷戸にも残されています。在地武士たちの間に、仏教は相当浸透していたのでしょう。

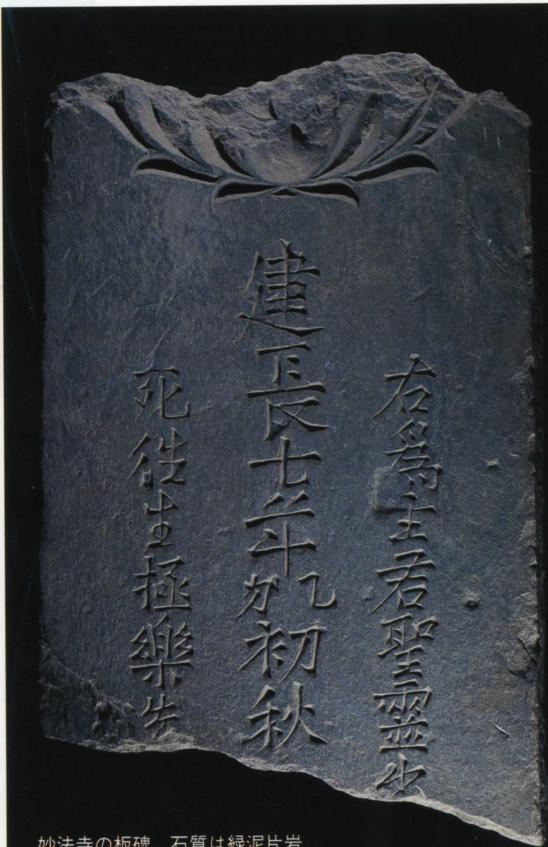
それらのうち、久末・妙法寺所蔵建長7年(1255)銘板碑は上・下を欠損しているものの、記された銘文の書体は雄勁で蓮弁の彫りもシャープで力強い名品です。

板碑は中世武士が活躍する13世紀前半に関東で出現し、中世的世界が終りを告げる17世紀初頭には史上から姿を消しますので、まさに中世を象徴する武士文化であったといえるでしょう。

この莊園は次第に変貌をとげますが、応永13年(1406)に記された影向寺仏堂再興勧進文の冒頭に「武州立花郡稲毛庄榮興寺」とみえ、古代以来、市域の中核であった影向寺付近も同莊園に含まれています。しかし、在地において武士団がど

うして活動しました。やがて武士政權が誕生すると、稲毛莊(現在の中原・高津両区が中心)の開発領主の系譜を引く稲毛三郎重成も源頼朝の御家人として活躍しました。

この庄園は次第に変貌をとげますが、応永13年(1406)に記された影向寺仏堂再興勧進文の冒頭に「武州立花郡稲毛庄榮興寺」とみえ、古代以来、市域の中核であった影向寺付近も同庄園に含まれています。しかし、在地において武士団がど



妙法寺の板碑。石質は緑泥片岩



寄木造、像高35.6センチ。神奈川県指定重要文化財

佛教では「如来」は宗教的な絶対智の真理の世界と、あまねく衆生を濟度する慈悲の心の両面を備える覚者であると説きます。これを「菩薩」の姿を通して表現するとき、無限の智慧を虚空蔵菩薩として、広大な慈悲を觀音菩薩として表しました。

例えば東大寺大仏殿の大仏様の脇侍には、向かって左に虚空蔵、右に如意輪觀音が安置されていきます。そのため彫造の遺例も少ないので、本像は鎌倉で活躍した仏師「朝祐」の作で、明徳元年（1390）の銘があり、全体的に装飾的で、高く結い上げた髻や、面長でやや女性的な顔立ち、抑揚をおさえた体幹部など中世後期の特色を良く示す作例です。

虚空蔵菩薩はややなじみに乏しく、庶民的な信仰としてはあまり定着しませんでした。

絶対智の側面を担当する虚空蔵菩薩はややなじみに乏しく、庶民的な信仰としてはあまり定着しませんでした。

# 能満寺の虚空蔵菩薩立像

# 能満寺の聖観音菩薩立像

像高101.3センチ。衣は波のひるがえるような技法、翻波式で彫られている。川崎市重要歴史記念物

東日本で仏像彫刻の造立がさかんになるのは、平安時代後期からであり、鎌倉時代には数々の名品が生まれました。

しかし奈良時代はもちろん、平安時代前・中期の作例はごく限られています。

市域では唯一の平安時代前期の作品である当像は、一本造、翻波式の衣文彫法をみせ、充実して存在感のある体幹部は大変すぐれています。ただ残念ながら頭部が後世に削りなおされ、全体のバランスを崩しているのが惜しまれます。なお光背・台座も後に補つたものです。



能満寺境内

## 権六谷戸の伝承

野川小学校の近くに権六谷戸と呼ばれるところがあります。  
昔、戦いに敗れた20人ばかりの武

士が落ちのびて、この谷戸にかくれ住んでいましたが暫くして再び敵の襲うところとなり、ほとんどの武士が討死にしました。

このとき、敵はトウモロコシのかげに隠れて不意打ちしたので、野川では以降トウモロコシを植えないと伝えています。

またこの時、独り助かった武士は権六と名を変え、板碑を造立して死者の菩提を弔いながらこの谷戸で余生を送ったそうです。



アヤメの花咲く谷戸



椎茸栽培も行われていた

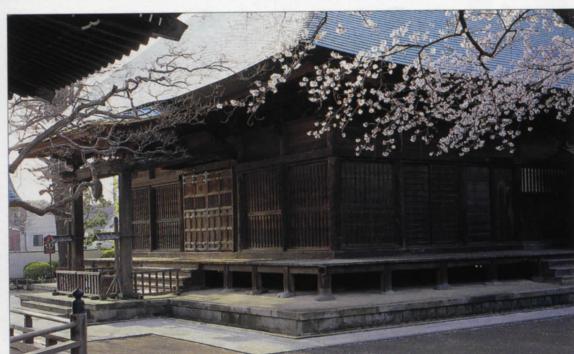
中世後期、この辺りは野川郷とよばれ、戦国期には小田原北条氏の家臣2名によって分割統治されました。

野川神明社に伝わる数点の棟札は、この辺りがかつてある莊園に属し、それがやがて領家方と地頭方に分割されたことを示していますが、中世後期になると地縁的な結合を核とした新しいタイプの中小武士団や在地名主層の台頭があり、旧勢力との間で抗争がくり返され戦国の世を迎えることとなります。権六谷戸の伝承の背景にはそのような時代の変化がうかがわれます。

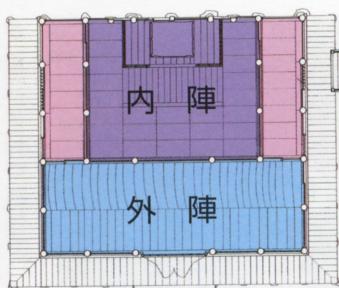




母乳の出を祈願する乳もらい絵馬



薬師堂は神奈川県指定重要文化財



薬師堂平面



薬師堂内部に掛かっている絵馬。眼病が治るよう願掛け絵馬は「向かい眼」



影向寺縁日には現在も露天がならび地域の人で賑わう

影向寺本堂（薬師堂）は正面5間、側面5間、寄棟造の仏堂で、内部は床張りで前面2間が檀信徒のための外陣、後方3間は本尊薬師如来坐像を安置する神聖な内陣となり、内・外陣の境界には高い敷居を入れ、はめ殺しの格子で厳格に結界しています。

格子で結界された閉鎖的な外陣空間は強い緊張感をもっています。

このような仏堂の様式は一般に「密教本堂」といわれ、平安時代後期に確立した我が国固有の仏堂様式です。

しかし、この後、禅宗が伝来した  
り、浄土教系の諸宗派が成立し、仏教が次第に庶民化するなかで、今までみられる内・外陣が一体化した、より開放的な本堂が普及しました。

影向寺は元禄7年（1694）、現本堂再興に当たつても、古い様式を踏襲したため、現今では数少ない密教本堂の例として県重文に指定されています。



影向寺1200年祭大法要

# 影向寺本堂

# 久末の義民地蔵尊

戦国期の争乱が終りに近づいた天正18年(1590)、徳川家康は江戸に入り、領国の經營を始めました。

郷村制を解体し、検地によつて村高

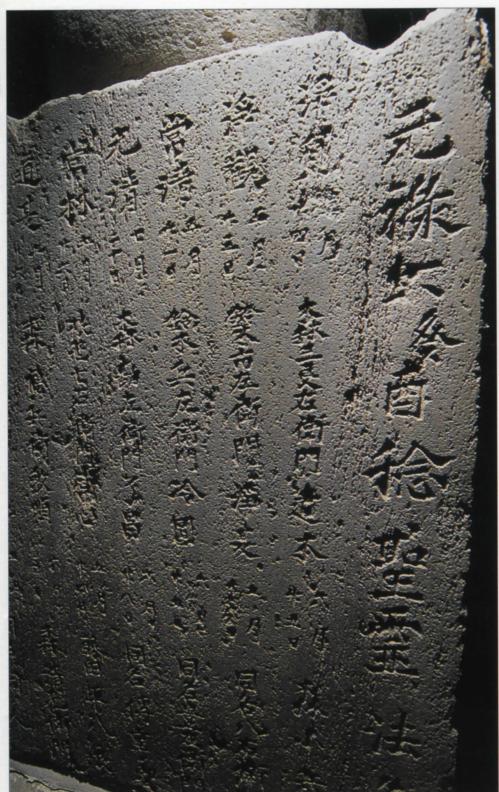
直轄領)や旗本の知行地となりました。野川村を知行した大岡氏は、万治3年(1660)影向寺の梵鐘がつくれられた時、その施主となつたり、薬師堂の再興にも力を尽くすなど、支配地の社寺を保護していますが、一方で旗本はその権力に任せ、農民を苦しめる事も多かつたようです。

元禄期、久末村を知行した佐橋佳純はきびしく年貢を取り立

てて、村民は餓死寸前に追いやられました。たまにかねた代表が江戸・四谷の旗本宅へ門訴に出向きましたが、次々と捕らえられて牢舎に監禁のうえ19名が毒殺されました。かろうじて生還した一人が事の次第を報告、やがて佐橋氏もその非を悟つて減免に応じたといいます。

延享3年(1746)犠牲となつた尊が建立され、昭和56年になつて妙法寺の境内に移されました。

また、同じ久末の蓮花寺にある宝篋印塔には、犠牲となつた人たちの名前が刻まれています。



犠牲となった農民の名前が刻まれた地蔵尊の台座

## 橘樹の消滅と宮前区の誕生

江戸時代も古代以来の「武藏国橘樹郡」の名称は、広域な地域名として存在し、その下部に地域支配単位としての「村」がありました。

明治時代に入ると郡区町村編制法によって橘樹郡は行政区画として復活し(明治11年11月)、神奈川駅(旧神奈川宿)に橘樹郡役所が置かれました。

さらに明治22年の市制町村制によ

り、千年新作子母口・末長・久末(あきつなかがわひだり・すゑなが・ひさすえ)明津・蟹ヶ谷の7か村が合併して「橘

村」に、梶ヶ谷・野川・馬絹・有馬・土橋が合併して「宮前村」となりました。

その後、昭和12年6月に橘村が、翌13年10月には宮前村が川崎市に編入され、橘の地名は消滅しました。

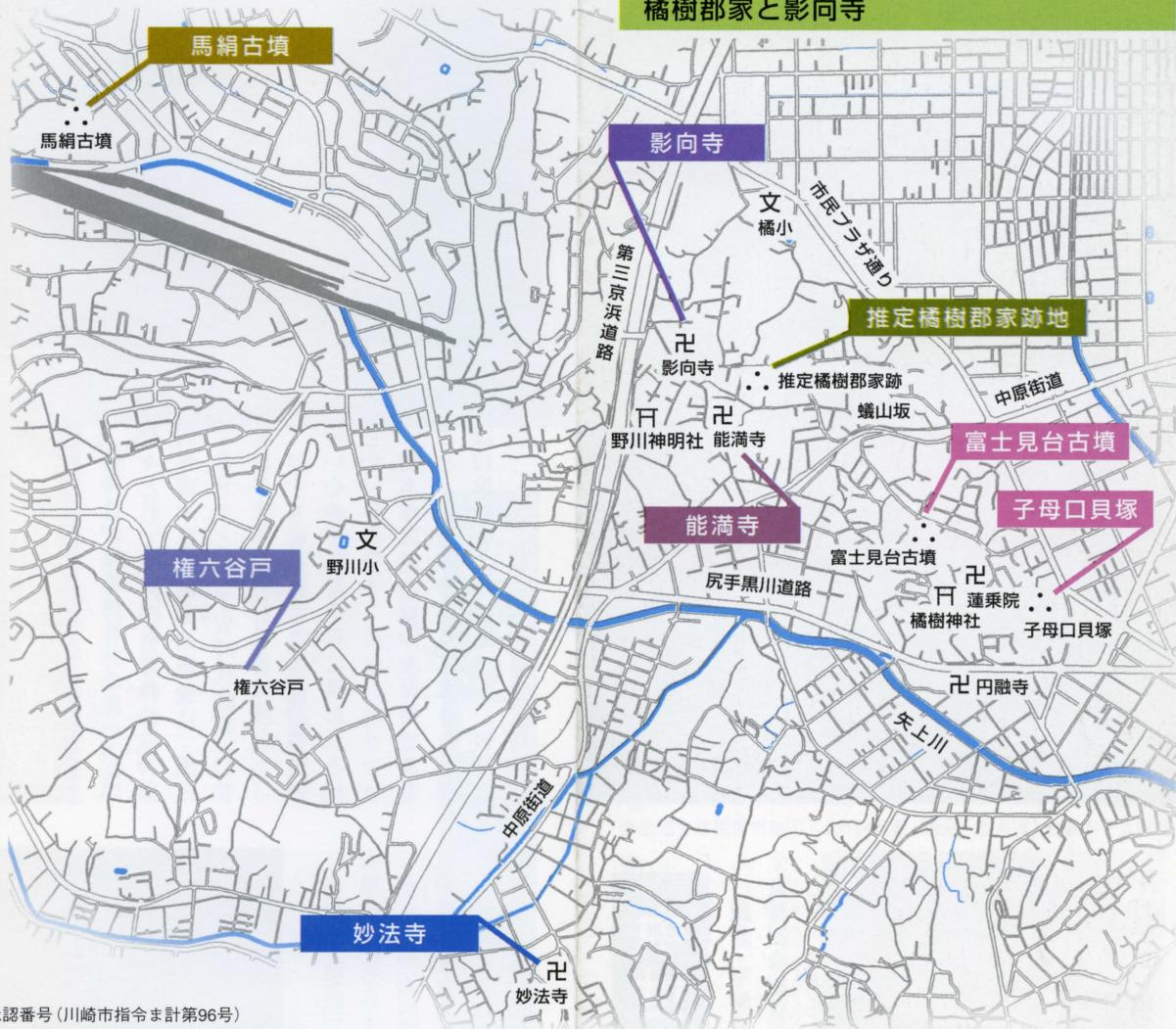
昭和47年4月、川崎市は政令指定都市となり、旧橘・宮前地域は高津区に含まれました。

昭和57年、高津・多摩両区をそれぞれ2区に分割することとなり、宮前・麻生両区となりました。

安政3年(1856)武藏国全図には橘樹郡と荏原郡の地名がみえる



## 橘樹郡家と影向寺



承認番号(川崎市指令ま計第96号)

## 参考文献

- 『川崎市高津区野川 影向寺文化財総合調査報告書』(川崎市教育委員会刊/1981年)  
『神奈川県指定重要文化財 影向寺薬師堂保存修理工事報告書』(影向寺刊/平成元年)  
『小池 汪 影向寺』(花林刊/1983年)  
『増補版 影向寺小誌』三輪修三著(影向寺刊/昭和53年)  
『ふるさと川崎ぶらむなあと』村田文夫著(ぎょうせい刊/2003年)

## 資料協力 (敬称略 五十音順)

- 川崎市教育委員会 妙法寺  
能満寺 影向寺  
藤枝市郷土博物館 蓮花寺

表紙 影向寺聖徳太子堂



ガイドパネルデザイン	粟津 潔 清水まこと
本文	三輪修三
写真	小池 汪
レイアウトデザイン	小池ゆり
印刷	株式会社アサヒ
発行	平成16年12月1日 無断転載を禁ず

## 川崎歴史ガイドのシンボル・マーク



デザイン ● 粟津 潔

このシンボル・マークは、古代の鏡を現わしています。歴史は私たちの祖先がつくりだしたものですが、それを再び映しだすのが、川崎歴史ガイド計画です。シンボル・マークは、歴史を甦らせ、映しだす鏡です。ガイド用の「柱」の上に、それが必ずついています。

## 公益財団法人 川崎市文化財団

〒210-0007  
川崎市川崎区駅前本町12-1  
タワ・リバ ク3F  
電話 044-222-8821

価格 200円(税込)

# 橘樹郡家と影向寺 地域史年表

赤字 …… 地域に関する事項（本文で触れなかった項目も加えてあります）  
 発行 …… 財団法人 川崎市文化財団 [電話：044-222-8821]  
 平成16年12月1日発行 無断転載を禁ず

協力 …… 藤枝市郷土博物館  
 本文写真 …… 三輪修三  
 小池 汪

レイアウトデザイン …… 小池ゆり  
 印刷 …… 株式会社アサヒ

時代	時代細区分	年代	事項	時代	時代細区分	年代	事項
古 代	繩文	早期	BC 5500年頃 子母口貝塚ができる	中 世	室町	1390年 14世紀 1406年 15世紀前半 16世紀前半 1534年 1559年	仏師朝祐が能満寺本尊虚空蔵菩薩像をつくる 現・影向寺所蔵の聖徳太子孝養像がつくられる 影向寺の金堂再建のため深大寺僧長弁が勧進文をつくる 影向寺の旧金堂を廃し、密教本堂形式の本堂を再建する この頃、荘園公領体制が崩壊し、一国を一円知行する戦国大名が登場する 子母口の真言宗円融寺はこの年宗論に敗れ、日蓮宗に改宗する 「小田原衆所領役帳」がつくられ「寺領」の部に市域では唯一王禅寺が登載される
	弥生	中期	紀元前後頃 AD 300年頃 梶ヶ谷神明社上遺跡ができる 影向寺・野川神明社周辺遺跡ができる		戦国	14世紀 1406年 15世紀前半 16世紀前半 1534年 1559年	
	古墳	前期	400年頃 加瀬白山古墳築造される 富士見台古墳築造される		中世	14世紀 1406年 15世紀前半 16世紀前半 1534年 1559年	
	飛鳥	500年頃 538年 仏教公伝	この頃、大和朝廷が成立し、その支配は次第に地方へ伸展する		近世	1603年 1623年 1675年 1694年 1707年 1746年 1868年	徳川家康、征夷大將軍となり江戸に幕府をひらく 東海道川崎宿が起立する この年と翌年、子母口蓮乗院に庚申塔が建てられる 影向寺の現本堂が建てられる 富士山が噴火し、火山灰が降る。妙法寺本堂建設中の大工がその状況を舟肘木（柱の上にあり桁をうける）に書きとどめる 久末の後谷に門訴で獄死した村民のため地蔵尊が建てられる 彰義隊の敗走兵が影向寺付近に出没する
	白鳳	7世紀後半	この頃、地方は国・郡（評）・郷の行政制度に入り、これにより橘樹郡家も成立する		江戸	1603年 1623年 1675年 1694年 1707年 1746年 1868年	
	天平（奈良）	8世紀中頃 755年	同じ頃、馬絹古墳・影向寺がつくられる 影向寺の金堂拡張整備、三重塔が造営される 橘樹郡の物部真根、妻と惜別の歌を詠む		近世	1603年 1623年 1675年 1694年 1707年 1746年 1868年	
	平安	10世紀末頃 11～12世紀頃 1159年	現・能満寺所蔵の聖観音像がつくられる 影向寺の薬師三尊像がつくられる 稻毛荘の検注が行われる		現代	1873年 1874年 1878年 1888年 1924年 1949年 1972年 1982年	培根学舎（橘小学校の前身）開設される 大区小区制を施行 郡区町村編成法を施行 市制・町村制を公布 川崎市誕生する 農家の荷車が難儀した蟻山坂を最大10m切りさげる改修工事が行われる 川崎市政令指定都市となり五区が誕生 分区により宮前・麻生両区が成立
	鎌倉	1180年 1189年 1255年 1292年 1384年	源頼朝が弟全成を威光寺（長尾・妙楽寺はその後身と推定される）の院主とする 頼朝奥州征伐、稻毛重成従軍する 現・妙法寺所蔵の建長七年銘板碑がつくられる 現・蓮乗院所蔵の光明遍照偈のある板碑がつくられる 渋口郷（子母口）の検地目録が作成され、そのなかに「二段 立花宮 神田」とみえ、現在の橘樹神社に比定される。同社は古代橘樹郡の守護社であったと推定される		明治 大正 昭和	1873年 1874年 1878年 1888年 1924年 1949年 1972年 1982年	
	南北朝				近世	1873年 1874年 1878年 1888年 1924年 1949年 1972年 1982年	

# 交通案内

(2004年11月現在)

## お問い合わせ

川崎市バス ..... 川崎市交通局営業課：044-200-3235  
運輸課：044-200-3232  
東急バス ..... 東急バスお客様センター：03-5458-1900

## 影向寺

J R 南武線武藏中原駅から  
川崎市バス・東急バスで鷺沼駅行、他

J R 南武線武藏小杉駅から  
川崎市バス・東急バスで鷺沼駅行（中原駅前経由）

\*他に J R 南武線武藏溝ノ口駅、東急田園都市線鷺沼駅、溝の口駅からもバスがあります。

..... 「影向寺」下車

## 能満寺

J R 南武線武藏中原駅から  
川崎市バス・東急バスで鷺沼駅行、他

J R 南武線武藏小杉駅から  
川崎市バス・東急バスで鷺沼駅行（中原駅前経由）

\*他に J R 南武線武藏溝ノ口駅、東急田園都市線鷺沼駅、溝の口駅からもバスがあります。

..... 「能満寺」下車

## 妙法寺

東急田園都市線鷺沼駅から  
川崎市バス・東急バスで小杉駅前行、他

J R 南武線武藏小杉駅から  
川崎市バス・東急バスで鷺沼駅行（中原駅前経由）、他

..... 「妙法寺下」下車

## 子母口貝塚

J R 南武線武藏新城駅から  
川崎市バスで川崎駅西口行、井田病院行、他

J R 南武線武藏新城駅から  
東急バスで綱島駅行

..... 「子母口」下車

## 富士見台古墳

J R 南武線武藏新城駅から  
川崎市バスで川崎駅西口行、井田病院行、他

J R 南武線武藏中原駅から  
川崎市バス・東急バスで鷺沼駅行、他

\*他に J R 南武線武藏小杉駅、東急田園都市線梶が谷駅からもバスがあります。

..... 「千年」下車

## 権六谷戸

東急田園都市線宮前平駅から  
川崎市バスで新城駅前行、他

J R 南武線武藏新城駅から  
川崎市バスで宮前平駅行、他

\*他に J R 南武線武藏中原駅からもバスがあります。

..... 「野川小学校前」下車

## 蟻山坂

J R 南武線武藏中原駅から  
川崎市バス・東急バスで鷺沼駅行、他

J R 南武線武藏小杉駅から  
川崎市バス・東急バスで鷺沼駅行（中原駅前経由）

\*他に J R 南武線武藏溝ノ口駅、東急田園都市線鷺沼駅、溝の口駅からもバスがあります。

..... 「影向寺」下車

## 野川神明社

J R 南武線武藏中原駅から  
川崎市バス・東急バスで鷺沼駅行、他

J R 南武線武藏小杉駅から  
川崎市バス・東急バスで鷺沼駅行（中原駅前経由）

\*他に J R 南武線武藏溝ノ口駅、東急田園都市線鷺沼駅、溝の口駅からもバスがあります。

..... 「能満寺」下車

## 橋樹神社

J R 南武線武藏新城駅から  
川崎市バスで川崎駅西口行、井田病院行、他

J R 南武線武藏新城駅から  
東急バスで綱島駅行

..... 「子母口」下車

## 蓮乗院

J R 南武線武藏新城駅から  
川崎市バスで川崎駅西口行、井田病院行、他

J R 南武線武藏新城駅から  
東急バスで綱島駅行

..... 「子母口」下車

## 円融寺

J R 南武線武藏中原駅から  
川崎市バスで蟹ヶ谷行

J R 南武線武藏新城駅から  
東急バスで綱島駅行

\*他に 東急田園都市線宮前平駅からもバスがあります。

..... 「子母口住宅前」下車

## 馬絹古墳

東急田園都市線宮前平駅から  
川崎市バスで新城駅前行、他

J R 南武線武藏新城駅から  
川崎市バスで宮前平駅行、他

..... 「金山」下車